

なぎそ 議会だより

広報

議会だより

公民館報

令和7年第1回・第2回臨時会・全員協議会

第1回・第2回臨時会 可決議案一覧

○：賛成挙手 ×：挙手せず

1月臨時会 予算関連議案		中	豊	伊	近	志	松	山	廣
●令和6年度 補正予算	・一般会計（第7号）の補正は6,979万7千円増額し、総額42億6,334万7千円となります。（他会計の補正金額は16Pの一覧表参照）	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案件		山下	伊藤	近藤	矢野	松原	坂本	山崎	高橋
●教育委員会の委員の任命につき 同意を求めることについて	・矢澤 純子（再任）：読書	○	○	○	○	○	○	○	○
2月臨時会 予算関連議案		中	豊	伊	近	志	松	山	廣
●令和6年度 補正予算	・一般会計（第8号）の補正は915万3千円減額し、総額42億5,419万4千円となります。（他会計の補正金額は16Pの一覧表参照）	○	○	○	○	○	○	○	○
条例議案		山下	伊藤	近藤	矢野	松原	坂本	山崎	高橋
●南木曾町議会会議規則の一部改正について	・議会ペーパーレス化に対応するため、電子機器の使用など議会規則の一部を改正するものです。	○	○	○	○	○	○	○	○
●南木曾町議会委員会条例の一部改正について	・議会委員会をオンラインで開会する場合に対応するため、条例の一部を改正するものです。	○	○	○	○	○	○	○	○

第1回・第2回臨時会

15P

○令和7年第1回臨時会が1月30日に、また第2回臨時会が2月26日にそれぞれ1日の会期で開かれました。

★第1回・第2回臨時会

★可決議案一覧

☆補正予算（第7号・第8号）

☆全員協議会

☆委員会報告

- ・リニア新幹線対策特別委員会
- ・議会のあり方研究特別委員会

18P

17P

15P

15P

補正予算審議

1月臨時会

物価高騰対策

●普通交付税の追加交付の内容

●調整戻し及び新規算定費目の再算定により6567万4千円を増額したとあるが、その内容は、

●臨時経済対策費が2153万8千円、給与改定費2941万5千円、臨時財政対策債償還基金費1295万5千円の3項目が再算定されています。

●臨時経済対策費の追加配分の理由は、また配分は今年だけか。

●経済対策等の施策に使用するため国から配分されたものです。配分は今年のみです。

●交付金の算出根拠

●重点支援地方交付金4400万円の金額の算出根拠は、どのような基準で金額が出されるのか。

●人口などを加味し

た上で国が配分をしています。

●低所得者支援事業の実施時期

●低所得者への支給時期はいつか。

●非課税世帯への支援については、支給開始時期の調整をしています。システム改修等の対応が必要のため、3月中に第1回目の給付を始める計画です。

●地域応援商品券
●以前は食事券などに限定したこともあったが、今回は加盟店であれば何に使ってもいいか。

●今回の商品券は特に用途を限定していませんが、金券や公共料金、たばこの購入、預金などには使用できません。

●全町民への商品券の配布の時期は。
●2月中に配布できるよう努めています。（町からの商品券のお知らせは広報なぎそ3月号をご覧ください。）

●農林水産業における物価高騰対策支援

●肥料及び農薬購入額の1割補助で、申請数が見込み以上の場合

●見込みを上回る場合は、追加の補正予算を出します。

●医療介護への支援
●交付金の対象は、入所系・通所系・訪問系などの福祉施設と町内医療関係が対象となります。

2月臨時会

●旧田立電機工場跡地除去事業

●蘭地区の旧田立電機工場跡地除去事業の工期、また地元への説明は。

●工期は令和7年6月末を見込んでいます。地元説明は今後予定しています。

●消防可搬ポンプの管理

●売り払いされた消防車3台の代わりはまた積載されている可搬ポンプを地区に売ることは可能か。

●新しく3台購入しました。ポンプは各分

団・部の予備ポンプとして保管しており、車両売却時に古い予備ポンプと入れ替えています。場合により、売払いにはかなりの整備が必要です。

●ケーブルテレビ（C

ATV）事業

●CATV事業に係る償還金負担金で、広域連合交付金の163万2千円増額とは。

●木曽広域で始めたCATV事業では、広域での起債借入れができないため各町村で分

担して過疎債の借入れを行いました。借入れの7割は交付税で算入され、残りの3割は広域の収益から各町村へ返還され、令和14年まで予定されています。

●ふるさと納税

●ふるさと納税の返

礼品の中で、人気のあ

るものの件数と金額は

●最も件数が多いも

のは113件で、売り

上げ額の最高は260

万円です。

●地籍調査の状況

●地籍調査費は28

6万円減額だが、予定通りか。

●田立正兼付近の29

区0・36kmの後期工

程、長谷川ダム付近の

30区0・2kmの前期工

程を行いました。

●農業支援への検討を

●多面的機能支払交

付金が減っている。集

落の実態はどうなっ

ているか。

●令和6年から第3

期の多面的機能支払交

付になりましたが、15

団体が12団体になり交

付額は減額となってい

ます。

●町の農業の状況を

象徴していると思うが、

地域全体で環境を守っ

ていくという意味では

多面的事業も大事な

もつと応援できるよう

な体制は取れないか。

●農業者、また農地

などを減らさないよう

な取り組みを検討して

いきます。

●田立元組宅地造成の

一部変更

●宅地造成事業特別

会計の調査等の委託の

増、物件補償費の減の

内容は。

●委託料は、当初設

計の進入路位置の変更

による区画の変更設計

分です。また物件補償

費の200万円減額は、

社会福祉協議会倉庫の

移転補償費が大きくな

り、既存のまま使用す

ることにしたためです。

地元には説明会を行い

事業内容も確認してい

ただいています。

●街なみ環境整備事業

●緑域明許費の街な

み環境整備事業では、

工事の事前調整に時間

を要したとあるが。

●主に妻籠地区防災

施設の改修と案内看板

の改修繰越しです。観

光業者・関係団体との

調整に時間を要しまし

た。

●今年度の文化財防

火デーで外国人観光客

向けの避難訓練を行っ

たが、町並み交流セン

ターが避難所であるこ

とが分かるよう案内

マップに表記してもら

いたい。

●高校語学研修助成

●蘇南高校の語学研

修の減額理由は。

●15名を見込んでい

ましたが、実際には生

徒12名と引率の先生1

名の参加でした。3

月2日からの10日間、

オーストラリアへ行く

予定です。

●与川歴史の道災害復旧

●歴史の道災害復旧

費の減額200万円は

どこか。

●与川地区「松原小

休所」付近の崩落箇所

復旧工事に300万円

を予定していました。

歴史の道としての自然

な形を残しつつ、歩行

に支障がないような復

旧ができました。

2月の大雪対策

●降雪・凍結道路の対応

●新雪の除雪は事業

者に任せると周知され

ているが、圧雪・凍結

した場合は業者も見回

りしきれない。どのよ

うに対応するのか。

●降雪時にパトロー

ルする業者が判断した

り、前日に役場から依

頼をかけたりするよう

な形もとっています。

大きな除雪車が入れな

い生活道路では、区長

から町に相談いただけ

れば現場を見ながら対

応したいと思っています。

●通学路となる国道

19号の歩道の除雪対策

は。

●国交省の管轄です

が、積雪が多すぎて対

応しきれず、東栄町の

歩道等は役場の担当も

除雪を行いました。

●観光客の歩く中

山道、与川道、柿其溪

谷等の除雪対策を求め

る。また、道標の看板

が雪で埋まった。看板

の高さ等の点検改修が

必要だ。

●大雪災害への支援

●雪で農業用パイプ

ハウスが潰れている。

積雪被害への支援制度

拡充は。

●災害への補助はあ

りません。他町村など

を見ながら研究をして

いきたいと思っています。

●

●

●

●

議会と町の意見交換 全員協議会

(12月20日・1月30日・2月26日)

全員協議会とは…

議会独自の運営協議、議員間の意見調整、本会議審議中における協議、執行機関と議会側の意見調整などを行うための場で、議会の開会中及び閉会中にかかわらず議長の招集により開催し、公開を原則とします。

【協議の状況】

- 元気が出て、明るくなれるような目標設定を。
- 現状の分析の記載はあるが課題に触れていないところがある。
(目標人口3150人の設定に対して)
- 人口増加は最も重要な目標の1つであるが、10年後に現時点の人口3600人より450人も減少することを想定した目標では意味がないのでは。
- 10年後3150人とする目標は、年収が360万の人が将来315万に下がると言われるようなもの。町民の元気がでるのかが疑問。

【説明概要】第10次総合計画が令和6年度に満了することにあわせ、町の最上位の計画で10年後の目指す姿を示す「総合計画」と、人口減少の抑制、人口減少社会の中でも幸せな暮らしが出来るよう取り組む「地方創生総合戦略」を統合し策定します。総合計画審議会において協議・討議を行い、中学生以上の町民千名のアンケートを踏まえ素案を作成しました。

第11次南木曽町総合計画前期基本計画(第3期南木曽町地方創生総合戦略)について

【協議の状況】

- 定期的な昇給があると思うが、下がったという具体的な数字はあるか。
- 郡内比較の資料で、他の町村の方が少し細かくなっている。南木曽町の議会事務局長や会計管理者は他町村だとどこにあたるか。

【説明概要】管理職手当を郡内の市町村との均衡を図りつつ、令和7年4月1日より引き上げを行いたい。

管理職手当の見直し

【協議の状況】

- 改正全般：○宿泊を伴う出張の年間の回数と費用の状況は。●出張による自己負担はしないのが基本。手当の見直しも含めた改定を。
- 地域区分：●阿智村、中津川市、恵那市は特殊な扱いであるが、実際の行政区分でいいのでは。
- 宿泊費：●ホテル料金も高くなっている。基準額の引き上げ検討も必要。
- 上限を区切らず不足分は領収書で精算し、町での持ち出しはないようにしてはどうか。
- 一定金額を設けず実費だけ払うのがわかりやすい。
- 食卓料：●情報交換会などの会費はいくらかの助成をすべきではないか。
- その他：●状況に応じた手当の必要があるのでは。(宿から出張先の交通費、出張手当など) ●手当を細かくすると、事務処理が大変になる。
- 職員との話し合いが必要。

【説明概要】宿泊料について、近年の物価高騰や人件費の高騰により、現行条例の規定では必要額を確保することができないため、条例の一部を改正するもの。令和7年4月1日から適用したい。

職員の旅費に関する条例の見直し

【経過等の概要】
昨年12月の全員協議会で示された南木曽駅前防災倉庫設置について、その後の検討経過報告があり、当初計画位置を見直し改めて場所の選定を地元と協議をしながら進めていきたいという考えが示されました。
(「広報なぎそ」2月号の議会だよりP23参照)。

南木曽駅前の防災倉庫設置について

【協議の状況】

- 今回落札した案件だけでなく、他の2つの案件にも入札していることも問題であり当該事業者への厳しい対応が必要では。
- 県の処分と期間を合わせられれば今回のようなミスが起きなかったのでは。
- 入札談合などは行われていないか。
- 前回大きな事件だったにもかかわらず入札停止処分のみで、入札資格の取消しにしていなかったのが今回の問題につながったのでは。
- 町の責任などはどうなるか。

【説明概要】建設工事の不適切な入札契約事務についての経過を報告しました。

不適切な入札・契約事務について

委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

【1】委員会審査

令和7年1月14日に開催し、議会からは委員7名と議長、町からは建設環境課長とともに元気に戦略室長ほか担当者が出席しました。審査内容の概要は以下のとおりです。

(1)水道水源予備的措置について

●予備的措置の全体計画と令和元～6年の経過

●予備的措置の考え方の確認

①リニア工事に伴い減濁水が生じた場合に備え、妻籠・向ヶ原・大山高区の各水源に対し、予備的措置として施設等を事前に設置する。

②減濁水が生じた場合の予備的措置での対応。

第1段階：妻籠水源には大山・蘭筒水からの配水を実施。

第2段階：さらに代替水源として床浪本谷水源を確保し、仮設の取水設備、浄水場設備、導水管の資機材などの準備で即刻対応できるようにする。

③水源に減濁水が生じた場合には、工事補償として、新たな代替え水源を含む水道施設の本設工事を行うことになる。

●予備的措置実施状況

・床浪本谷代替水源仮設工事完了。現在、富貴畑浄水場仮設工事、蘭本谷橋までの既設管への導水管準備等を実施中。

(2)各工事の進捗状況

・広瀬工区：斜坑を約100m掘削。尾越工区：本坑を岐阜県側に200m掘削。山口工区：本坑を南木曾町域で82m掘削。

・妻籠水源の状況：妻籠水源の原水・配水量変動と観測井の水位変動の連続的記録図の提示。

・発生土の運搬状況

(3)国道256号の工事用車両台数に関する各地説明会状況

・令和6年11月28日に妻籠町並み交流センター、12月3日に蘭分館で実施。発生土運搬車両の通行時間帯を8時～18時から7時～19時に拡大変更などの説明。

(4)確認書の変更及び協定書の取交しについて

・工事用車両の通行等に関する変更確認書

・「押出南」の発生土置き場事業の概要と「押出南」事業に係る基本協定書について

【2】委員会での集約意見に対するリニア対策協議会での応答などの概要

・山口工区の湧水量は、本坑と先進坑から合わせて2.7t/分程度。

・妻籠水源の配水量と観測井の水位は、山口工区の切羽が県境を越えたためデータを公表した。

・妻籠観測井（浅井戸）は、第1・第2水源への影響を見るためストレナを設置しており、それより下は岩盤で水はないと見ている。観測で減水すれば予備的措置、さらに本設工事で対応する。

・国道256号を通行する車両台数は、トンネル掘削量を1200m³/日、トラック4m³/台程度として最大往復690台/日と見込んでいる。運搬車両通行時間帯を7時～19時までに拡大し、時間当たりの通行量を減らすことを承認したが、観光期には台数を調整することのこと。

・「押出南」事業は町が行い、リニア発生土盛土により崩落箇所を安定化させ下流域への土砂流出を防ぐ。盛土は豪雨による増水水面（河川区域界）よりも上から行う。

文責：山崎 隆二委員長

委員会報告 議会のあり方研究特別委員会

当委員会を令和6年12月20日に開催し、以下2つの項目について調査研究しました。

●「12月議会のケーブルテレビ放映内容の確認」

初めてとなるケーブルテレビ放映に先立ち、一般質問と行政報告を撮影編集した映像の確認を行い、業者からの説明と質疑応答により、放送内容を下記の通り決定。

・放送媒体：地上波123チャンネルで放送。

・放送期間：1月16日から19日の4日間。

・放送内容：一般質問は1日につき2、3名を通告順で放映する。時間は8時・12時・16時・20時（1日4回）。

・住民への告知：日程の都合上、広報無線放送で実施。

【放映後の反響】

・議会が身近に感じられて良い。

・発言者だけが映るような工夫を。

～～その他、感想等お待ちしております～～

●「住民懇談会のまとめ」

昨年10月16日に開催した住民懇談会について議会の意見集約を行いました。

・開催時期についてはおおむね良かったが、会場については町の中心である南木曾会館の方が集まりやすいのではないか。

・もっと気楽に若者も集まりやすい環境が必要ではないか。

・その他、質疑応答の形式、配布チラシの内容、配布方法、テーマ等の意見。

今後、より良い懇談会にできればと思いますので、住民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

文責：伊藤 寿子委員長

